

## 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化推進 JASO、東京都と連携開始！

前号でお伝えしたとおり、「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」が3月18日に公布されました。これをうけ、6月28日に、緊急輸送道路約2千kmのうち、特に沿道の耐震化を推進する必要がある道路が「特定緊急輸送道路」に指定されました。下記のア～ウのいずれにも該当する建物の所有者は、耐震診断や耐震改修の実施状況等についての報告義務が課せられます。10月1日には、耐震化状況の報告書の提出が開始される予定です。

- ア. 敷地が都が指定する特定緊急輸送道路に面する
- イ. 昭和56年5月以前に新築された建築物（旧耐震基準）
- ウ. 道路幅員の概ね1/2以上の高さの建築物

緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の促進のため、6月30日、都は一般社団法人東京都建築士事務所協会、社団法人日本建築構造技術者協会、JASOの3団体と「緊急輸送道路沿道建築物の耐震化に向けた連携に関する協定書」を締結しました。この協定により、3団体は、耐震診断の実施、診断者の技術力の向上、相談体制の整備と普及啓発の実施等を行うこととなります。現在、都と3団体で、沿道建築物の耐震診断の評価方法等について検討中です。沿道建築物の耐震診断については、診断者を3団体の会員に限定する方向で進んでいます。



都と協定書を締結する中田理事長



東京都と協定書を締結した3団体



目次：

JASO、東京都「緊急輸送道路沿道建築物の耐震化に向けた連携に関する協定書」締結	1
耐震化支援事業2010年度実績	2
JASO総会&記念セミナー報告	4
業務報酬JASO基準について	5
会員事務所ご訪～問！	6
HS会員ご訪～問！	7
お知らせ&スケジュール	8

JASOトピックス

- 5/18 HS会総会
- 6/10 JASO総会
- 6/30 東京都 緊急輸送道路沿道の耐震化に向けた連携に関する協定書調印
- <東日本大震災津波被害調査>
  - 5/2～4 第一次調査
  - 5/29～30 第二次調査
  - 6/22～23 第三次調査
  - 8月中旬 第四次調査(予定)

**2011年度  
 JASOは社会の  
 信頼を第一義にすえ  
 活動を展開します。**

## JASO耐震化支援事業等 2010年度の実績

2010年度のJASOの行政に対する耐震化支援事業は、東京渋谷区、世田谷区の2区が新たに加わり、それまでの杉並区、北区、練馬区、新宿区、港区、墨田区とあわせて合計8区が対象となりました。この事業は2006年から始まり、2011年3月までにアドバイザー派遣541件、簡易診断224件の実績を挙げています。またその結果、診断等の業務については、精密診断29件、補強計画・設計6件の実績を築くことができました。2011年3月11日の東日本大震災以降、アドバイザー派遣が急増し、3月だけで64件の派遣依頼がありました。 ※精密診断・補強計画・設計は耐震化支援事業に含まれないが、便宜上、下記に併記。

### ①東京都杉並区（2006年より受託）

■支援対象：昭和56年以前に建てられた木造以外の建築物

累計：アドバイザー派遣申込248件、簡易診断95件

2010年度の実績：アドバイザー派遣50件、簡易診断13件／精密診断5件、補強計画・設計1件

### ②東京都北区（2007年より受託）

■支援対象：昭和56年以前に建てられた分譲マンション

累計：アドバイザー派遣申込20件

2010年度の実績：アドバイザー派遣1件、簡易診断1件

### ③東京都練馬区（2008年より受託）

■支援対象：昭和56年5月以前に建てられた分譲マンション

累計：アドバイザー派遣申込57件

2010年度の実績：アドバイザー派遣15件、簡易診断10件／精密診断1件

### ④東京都新宿区（2009年より受託）

■支援対象：昭和56年5月以前に建てられた耐火建築物

累計：アドバイザー派遣申込151件

2010年度の実績：アドバイザー派遣93件、簡易診断40件／精密診断4件

### ⑤東京都港区（2009年より受託）

■支援対象：昭和56年5月以前に建てられた非木造の住宅、共同住宅、診療所、店舗等

累計：アドバイザー派遣申込17件

2010年度の実績：アドバイザー派遣5件、簡易診断8件

### ⑥東京都墨田区（2009年より受託）

■支援対象：昭和56年5月以前に建てられた建築物（工業化認定住宅、補強コンクリートブロック造を除く）

累計：アドバイザー派遣申込4件

※簡易診断制度なし

### ⑦東京都渋谷区（2010年より受託）

■支援対象：昭和56年5月以前に建てられた建築物

2010年度の実績：アドバイザー派遣3件 ※簡易診断制度なし

### ⑧東京都世田谷区（2010年より受託）

■支援対象：昭和56年5月以前に建てられた建築物（木造以外・共同住宅 面積要件等あり）

2010年度の実績：アドバイザー派遣1件 ※簡易診断制度なし

※ 墨田区、渋谷区、世田谷区には簡易診断の制度がなく、アドバイザー派遣で精密診断の要・不要を判断します。

### ⑨無料相談（2008年より）

行政の耐震化支援制度（アドバイザー派遣等）の適用外の建物や新耐震基準の建物からの相談などがありました。

累計：38件

2010年度実績：16件

（田中聡）





# JASO 2011年度定期総会&記念セミナー 報告

6月10日 会場：日中友好会館

2011年度JASO通常総会が6月10日に(財)日中友好会館ホールにて開催されました。

昨年度は「耐震診断業務報酬基準委員会」や「医療施設耐震化委員会」が新しく発足し、また、3月11日の東日本大震災に対して現地調査団を結成するなど、活発な活動が行われたことが報告されました。特に、区市に対する耐震化支援事業については震災後の依頼急増もあり、収入が前年度約4000万円から4685万円と増加しています。さらに、JASOが精密診断の契約当事者となったものが9件、会員が契約者となったものが1件ありました。JASO判定会議では、14件の耐震診断、6件の改修設計を審査して評定書を発行しました。耐震診断の収入は決算額が予算額の2倍近くの7449万円となりました。

このような活動の結果、正味財産が1000万円を超え、ようやくJASOも経済的な基盤が整ったといえます。

今年度の活動は、「社会の信頼を第一義にすえ活動を展開する」ことを掲げています。JASOが社会の信頼に応える資質と能力を養う仕組みを今一度整備し、確かな情報発信ができる体制を構築します。東日本大震災後、市民の耐震に対する意識が高まる中、東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例が公布されたことにより、耐震化支援等耐震診断・改修事業の推進はもちろん、津波災害対策の研究と普及、総合的な災害対策の研究と普及の3つの事業を重点的に行っていくことが承認されました。

## 【今年度の役員体制】

理事長：中田準一（再任）、副理事長：五十殿侑弘（再任）、三木哲（再任）、深澤義和（新任）、  
常務理事：佐藤寿一（新任）、他理事15名、監事2名

## 総会記念セミナー（JASOの4つの委員会による活動報告）

### 1. JASO型簡易耐震診断技術の手引き

技術情報委員会（委員長：安達和男）が検討を行ってきた、JASO型簡易診断の手引きの抜粋編が配付され、考え方や書式、RC造とS造の構造診断の記述要領が披露されました。

### 2. 東日本大震災に伴う津波被害調査(緊急報告)

津波被害調査団（団長：菊地守）より、被害状況を撮影した写真を披露していただきました。今後、追加調査とともに、「東日本津波災害委員会（仮称）」を立ち上げ、報告書を作成する予定です。

### 3. 医療施設における総合耐震安全性診断マニュアルの作成

医療施設耐震化委員会（委員長：平山昌宏）が検討を行ってきた医療施設における総合耐震安全性マニュアルの内容が披露されました。災害時に医療行為を継続するためのポイントが紹介されました。

### 4. マンション耐震診断等の業務報酬基準

耐震診断業務報酬基準作成委員会（委員長：宮城秋治）が検討を行ってきた、RC・SRCの分譲マンションの業務を対象とした、JASOの業務報酬基準の考え方が披露されました。

これらの成果については、今後、パンフレットや書籍にとりまとめ、発信していく予定です。



安達和男氏



平山昌宏氏



菊地守氏



宮城秋治氏

## JASOの耐震診断等の業務報酬基準が作成されました

JASOや、JASOの会員事務所では、これまで杉並区をはじめとした都内の自治体の耐震化支援事業を通じて、マンションの耐震診断から補強工事監理までの実務に携わり、実績を積んで参りました。

これらの実績を踏まえて、業務報酬基準作成委員会のメンバーが議論を重ね検討を行い、JASO版の耐震診断等の業務報酬基準を作成しました。

報酬基準の内容は、建築家・技術者がマンションを最初に訪問するアドバイザー派遣から始まり、耐震診断（簡易診断、精密診断）を経て補強計画・設計、工事監理に至るまでの各ステップごとの業務について、業務内容と報酬基準等を記載してあります。

各種業務報酬の根拠となる建築家・技術者の業務量については、これまでの実績をベースにし、実際にかかった業務量を調査したうえで、基準を作成しました。

マンションの耐震化に向けた（工事費以外の）費用について全般的に網羅した内容となっており、図面のない場合の対応方法や鉄筋ハツリ出しによる構造図面の復元費用などにも触れられております。また耐震補強完了後などに取得可能な耐震プレート交付についても述べられております。

また、構造診断だけでなく、建築・設備の視点も加えたJASOらしい内容になっており、マンションならではの合意形成支援業務については、診断や設計、工事監理などの各ステップにおいて行う合意形成等の支援業務の細かい内容の解説や、報酬について記載されています。

また、この業務報酬基準は、専門家だけでなく、マンションの管理組合に対して、耐震化の各業務の具体的内容や診断手法・各種基準、業務報酬の根拠・基準を、分かりやすく解説することを目標に作られています。

特に精密診断～工事監理までの各ステップと、図面復元については、モデルマンションを取り上げて、業務報酬の参考費用を記載しております。

なお、今回の業務報酬基準は、主にRC造及びSRC造のマンションを対象としたものであり、鉄骨造や、マンション以外の用途の建築物に適用する場合は、不適切になる場合もありますので、ご注意ください。

マンションの管理組合との打ち合せの中で、「いったいいくらお金がかかるのですか？」という質問を良く受ける事があります。建築家、技術者の業務報酬基準は、通常国土省の平成21年告示第15号により計算されていますが、耐震診断や耐震補強設計等、特殊技術を使って既存建築物の診断や設計を行う業務については、基準に明記されていません。また他団体などでも耐震診断基準等はありませんが、マンションの耐震化支援に係る建築家・技術者の業務費用について総合的に記載した資料は殆んど見られません。ぜひともJASOのマンション耐震化支援業務にご活用ください。（江守実実）





# 会員事務所ご訪問！

## 番外編 判定委員ご訪問！

### 第8回

#### 株式会社日建ハウジングシステム

(浅野 美次 氏)

昭和22年（1947年）滋賀県彦根市に浅野美次は生まれる。お父さんが大工であった環境から小さい頃から将来は建築の道しか考えていなかった。同じく建築をやっている親類から「若いときの頭が柔らかいうちしか構造はできないぞ」といわれて大阪大学では構造計画の研究室に入ることになる。

日建設計は明治33年（1900年）に設置された住友本店臨時建築部がはじまりである。戦後に分離独立を果たして、林昌二と矢野克巳が「ポーラ五反田ビル」で第23回日本建築学会賞を受賞した2年後の昭和48年（1973年）に浅野美次は日建設計に入社している。母校から入ったのは3人目だったので当時構造部長の矢野克巳に相当かわいがられた。1年目の大阪研修時代にはRC2階建ての火葬場増築設計を担当し、社長が設計した建物だから君の将来は約束されたようなものだとおだてられた思い出もある。現在は、日建設計を定年後、グループ会社である集住施設専門の「日建ハウジングシステム」の構造部長として所属している。

JASO（耐震総合安全機構）はもちろんのことJARAC（建築耐震設計者連合：JASOの前身）の発足時からかかわってきた系譜は必然ともいえる。JSCA（日本建築構造技術者協会）の理事にも就任していたが、発言の重みのある建築の方々と一緒にやってくれたからJASOはここまで来ることができたという評価が高い。JSCAだけではできなかったことだ。

すでに設立当初の目標を超えて活動の場を広げているが、TAAF（東京都建築士事務所協会）とJSCAとJASOは東京都と緊急輸送道路沿道建物の耐震化に向けた協定を締結した。耐震アドバイザーの活躍のみならず、ますますJASO評定会議の客観性が厳格化されてくる。東日本大震災を受けて耐震化事業の拡大にJASOも若手の技術者の育成が急務だ。一定以上のスキルを確保するためになんらかの審査も耐震アドバイザー認証に求められることになる。JASOへの社会の期待は大きくて重い。



日建ハウジングシステムがある飯田橋界限



エントランスには日建設計グループの4社のタッチパネル



広報委員に優しく語りかける浅野美次氏



笑顔が素敵な浅野美次氏

(宮城秋治)

このコーナーではJASOの会員事務所を訪問し、最近の動向などについてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

# HS会員様ご訪問～問～

## 第8回 ジャパンエンジニアリング株式会社

このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

### 常に新しい発想で業界を一步リードする「配管エンジニアリング」

昭和48年第一次オイルショックの年、後に設備配管の品質を飛躍的に向上させる企業が誕生しました。高度成長に沸きながらスクラップ&ビルドを繰り返してきた時代に、いち早く設備配管の長命化を唱え、塩ビライニング鋼管やステンレス鋼管の加工技術の開発に取り組んでいた配管エンジニアリング企業、ジャパンエンジニアリング株式会社の勝浦工場におじゃまいたしました。

「出来ない理由を熱心に探す代わりに、出来る理由を必死に考えよ」という創業者の口癖はいつの日か社員の合い言葉となり、一丸となって挑戦を重ね数多くの特許技術を有することになりました。

ステンレス鋼管などの鋼管系配管であればどんな複雑な形状でも加工できる技術を有します。設備配管のプレハブ加工化は、品質が安定するばかりでなく、現場での施工労力や廃材が削減できるなど、コストや環境負荷の面でもメリットがあります。品質管理も徹底しているので建設現場側からも大変好評の様子です。

この度の震災において、千葉県浦安市では液状化による被害が甚大でしたが、ジャパンエンジニアリングさんが現場に納めたステンレス加工管に被害は全くなかったそうで、震災後は仙台空港の復旧工事にも配管を納入しました。

最近では、長年閉ざされていた消防設備分野にくさびを打ち込み、連結送水管に使用可能なステンレス鋼管を開発し消防認定も取得しました。消防設備の分野は開かれた市場ではなく、使用できる管材が限られていたので建物オーナーや設計者にとっては嬉しい限りです。

その他にも、排水管の再生工法なども開発、社会のニーズに幅広く対応しております。ジャパンエンジニアリングさんの挑戦はまだまだ続く様子が、今後ますますの発展が期待されます。

(柳下 雅孝)



TIG溶接の酸素濃度管理  
ステンレス溶接加工の品質を徹底して管理する



清流宣言「良質で安全な水を効率よく届けたい」  
思いを熱く語ってくれた南雲洋氏（左から2番目）と  
佐藤貴司氏（右から2番目）



.....お知らせ.....

JASOが行政の耐震化支援事業を始めて、早5年が経過しています。業務を受託している市区の数、アドバイザー派遣数、アドバイザーの数もぐっと増え、今年度より、アドバイザー会議を2分化することとなりました。

また、3月11日の東日本大震災により、アドバイザー派遣数が急増、簡易診断の審査数も増えております。当面、審査会もこれまでの月1回から2回の体制とし、審査委員も増やして対応します。

事務局からの連絡をよくご確認くださいませよう、お願いいたします。



**アドバイザー会議**

第1 火曜日 13:30～

杉並区・北区・練馬区・新宿区・港区

第2 火曜日 10:00～

墨田区・世田谷区・文京区(予定)・八王子市(予定)

**2011年 JASO 行事スケジュール**

8月	8/2 (火)	アドバイザー会議
	8/9 (火)	アドバイザー会議
	8/23 (火)	耐震簡易診断審査委員会
	8/30 (火)	耐震簡易診断審査委員会
9月	9/1～	防災週間セミナー(詳細未定)
	9/6 (火)	アドバイザー会議
	9/13 (火)	アドバイザー会議
	9/20 (火)	耐震簡易診断審査委員会
	9/27 (火)	耐震簡易診断審査委員会
10月	10/2 (日)	練馬区セミナー
	10/4 (火)	アドバイザー会議
	10/11 (火)	アドバイザー会議
	10/18 (火)	耐震簡易診断審査委員会
	10/25 (火)	耐震簡易診断審査委員会

スケジュールは変更されることがあります。アドバイザー会議等にてご確認ください。  
各種委員会の日程は委員会にてご確認ください。

JASO賛助会員からのお知らせ(広告)

**鉄筋探査・コア採取から強度試験および報告書までの一貫した調査を行います。**



**調 査 内 容**

- コンクリート強度試験
  - ・コアボーリング法
  - ・ソフトコアリング
  - ・反発度法
- 中性化試験
- 塩化物含有量測定
- ヤング係数測定
- 仕上材・タイルの  
付着試験

- 配筋調査(非破壊)
    - ・電磁誘導法
    - ・電磁波レーダー法
  - ひびわれ調査
    - ・ひびわれの位置、幅
    - ・ひびわれ深さ
  - 採取鉄筋の引張強さ  
(降伏点、伸び率含む)
- その他 お気軽にお問い合わせ下さい



ISO/IEC 17025 認定試験機関 一級建築士事務所 優良鉄筋継手部検査会社  
**株式会社 日東コンクリート技術事務所**  
 〒341-0042 埼玉県三郷市谷口 221 TEL 048-952-5401 FAX 048-952-2260  
 HOMEPAGE <http://www.nittou-con.co.jp>